

## 年頭に当たり

### — 今年の夢や目標に向かってGO! —

平成28年が始まりました。昨年の世相を表す漢字一文字は、「安」でしたが、今年は安全・安心で、明るい話題が多く、みんなの笑顔があふれる一年になることを願っています。子どもたちも自分の立てた夢や目標に向かって、一步一步前進して行ってほしいと思っています。私たち教職員も、子どもの発達に応じた指導を行い、教育目標に迫っていくことができるよう努力してまいりたいと思っています。そして、保護者・地域の皆様との心の触れ合いを大切にしながら、絆を深めていきたいと思っています。本年もよろしくお願い申し上げます。

なお、インフルエンザによる学級閉鎖の情報が聞かれるようになり、これから流行することが心配されます。学校では、手洗い・うがいの励行、室内の換気等をしっかりと行っていきますので、ご家庭でも予防に努めていただきたいと思っております。

#### 中央小の学校教育目標 『心豊かにたくましく生きる子どもの育成』

- あたたかい心もち、仲よく協力する子ども < 仲よく >
- 創造性に富み、知性豊かな子ども < かしこく >
- 健康で明るく、根気強く努力する子ども < 元気よく >

<3学期始めの外遊びの様子>



【心を一つに、はいジャンプ!】



【笑顔はじけるはねつき遊び】

#### 子どもの健全育成に向けた大人の生活心得(県・県教育委員会・県警察作成)

「おかやまっ子を育む 大人の八か条」～大人が変われば 子どもも変わる～

- ①生活リズム “早く起き 子どものために 朝ごはん”
- ②あいさつ “気持ちいい 朝のあいさつ 大人から”
- ③ルール・マナー “教えよう やっていいこと 悪いこと”
- ④感謝の気持ち “ありがとう” “ごめんなさい” を大切に
- ⑤子どもへの関わり “手を止めて 顔を見て聴こう 子の話”
- ⑥しつけ “心から しっかり褒めて きらんと叱る”
- ⑦子どもの見守り “どの子にも 地域みんなで 声かけを”
- ⑧地域との関わり “参加して 深める絆 地域の輪”

学校と保護者・地域が力を合わせて、子どもたちの健全育成を図っていききたいと思っています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 「一斉あいさつ運動」・・・ みんなで盛り上げています!

#### 合い言葉 「えがお・だ・い・じ」【笑顔、だれにでも、いつでも、自分から】



【南門と北門でのあいさつ運動】

以前にもお知らせしましたが、毎月10日の岡山県一斉あいさつ運動の日に、児童の登校時間帯に合わせて、笠岡工業高校と笠岡東中学校の生徒と先生、更生保護女性会や保護者の皆様のご協力を得て、児童会役員や高学年の児童と一緒に、北門と南門の2カ所で、あいさつ運動を行っています。1月8日は、笠岡工業高校は始業式だったにもかかわらず生徒と先生が朝早くから参加してくださいました。地域の方からは、最近あいさつがよくなったというお話をしてくださる方もいれば、なかなかあいさつができないと教えてくださる方もおられます。笠岡東中学校区では、『あいさつの飛び交う、暮らしやすい「カブトガニの街」づくり』を目指して、保・幼・小・中・高が連携してあいさつ運動に取り組んでいます。人と人の出会いは、あいさつから始まります。気持ちのよいあいさつができるよう継続して指導していきますので、ご家庭や地域でも、積極的な声かけをお願いします。



【独自に製作した旗】

### 聞いています 聞かせています ... 読み聞かせボランティア



【姿勢も集中力も抜群!1年生】

毎月、1回ボランティアの皆さんによる読み聞かせを1年生から4年生を対象に実施しています。子どもたちは読み聞かせをとっても楽しみにしています。どのクラスの子も、真剣なまなざしで読み聞かせに聞き入っています。以前子どもたちに、「聴く」という漢字は、「耳+目と心」が組み合わさってできている。人の話を聞くときには、この「聴く」力を大切にしようという話をしました。読み聞かせの時の子どもたちの姿は、まさにこの「聴く」ことが実践できています。全員が絵本に集中して本の内容を聞きとろうとしています。なぜ「聴く」ことができたのでしょうか。それは、ボランティアの皆さんが、学年にあった絵本を選択し、練習を重ねられているからだと思います。読書ボランティアの皆さんには、心より感謝申し上げます。ご家庭でも、読み聞かせを実践してみてくださいはいかがでしょうか。きっと、喜ぶ子どもが多いのではないかと思います。

### 「聞く」から「聴く」へ

どこの学校でも、落ち着いた学級集団づくりに重点を置いて取り組んでいます。そのベースになるのが、まず人の話を「聞く」という習慣です。「聞く」ことは、学力やコミュニケーション力、人間関係調整力等、人間形成に関わる基礎になるものですが、この「聞く」ことがなかなかできにくい傾向にあります。本校においても、まず人の話を「聞く」ことのできる子ども・学級になるよう指導しています。そして、学年が進むにつれて、人の話を目と耳と心で聞くことのできる「聴く力」を身につけさせていきたいと考えています。ご家庭でも子どもの話をじっくりと聞くこと(傾聴)を大切にいただけたらと思っています。